

自分の考えを広げ深められる生徒の育成

——意見の比較を踏まえた話し合い活動を通して——

特別研修員 国語 和田佑果（中学校教諭）

生徒の実態

多様な意見が出ていても他者に伝えられない
周囲と異なる意見を伝えることに抵抗がある
意見を交流することの価値の意識が薄い

教師の願い

他者と様々な意見を交流することの価値を実感しながら、
情報や他者に対話的に向き合い、自分の意見をもてるようになってほしい

個で

手立て① ICTによるクラス全体との意見交流と、 情報を比較・分類し、話し合いたい相手を決める活動の設定

自分の考えを深められそうな人、広げられそうな人を選ぶ

視野の広がり

意欲の高まり

様々な立場の意見があるな。Aさんと私は同じ意見だ

Bさんの視点は気が付かなかった

Cくんはなぜこう考えたのかな？聞いてみよう



意見共有画面（タブレット）
全員の意見が一覧表示され、自由に選択し閲覧できる

ノートに名前と選んだ理由を記述する

他者と

手立て② 決めた相手と話し合い、 話し合いを踏まえて自分の意見を再思考する活動の設定

話したい相手と3分間で話し合う

考えの深まり

考えの明確化

弱者である人物を非難するのは何か嫌だになってこと？

そうそう！自分の中に二通りある

自分は自慢していないのに、自慢してると思われちゃうのがリアルだなと思った

リアルだねええ

Eさんと話して分かったことも踏まえて考えてみよう



自分の考えがはっきりした

確かに。Dくんの意見に納得した

話し合いを踏まえて自分の意見をまとめる

相手を変えて数回行う

めざす生徒像

自分の考えを広げ深められる生徒

【成果】

- ・話したい相手を決める…他者の意見を読むことに必要感を生む主体的に他者の意見に向き合える明確な目的意識をもって話し合える
- ・決めた相手と話し合う…話し手：自分の意見がより明確になる聞き手：相手の意見への理解が深まる

○文章による交流活動と、話し合いによる交流活動とを1単位時間内に設定することで、学習課題に対して様々な角度から思考したり自分なりに是非を判断したりすることにつながり、自分の考えを広げたり深めたりすることができることが明らかになった。

【課題】

- 同じ意見の相手と話し合う際に、相手の考えをより詳しく理解するための話し合いの進め方を生徒に提示するなどの支援が必要である。
- 「深めること」に関しては、時間の経過も必要であるため、本時以降も生徒の姿が見取れることが望ましい。